●2007年

■研究業績

**＜ 著 書 ＞**

1. 田家 諭．部位別中心静脈カテーテル挿入法 アプローチ部位とその解剖 １－１内頸静脈,必ず上手くなる！中心静脈穿刺ビジュアル基本手技5．森脇龍太郎・中田一之編．2007，pp38-41．羊土社（東京）
2. 田家 諭．部位別中心静脈カテーテル挿入法 挿入手技（landmark法）の実際とこつ,２－１内頸静脈 必ず上手くなる！中心静脈穿刺 ビジュアル基本手技5．森脇龍太郎・中田一之編．2007，pp50-53．羊土社（東京）
3. 中條浩介．麻酔と全身疾患,麻酔科シークレット第２版．太城力良編．2007，pp258-270．メディカル・サイエンス・インターナショナル
4. 前川信博，古泉真理．分娩時モニタリングとして何が必要ですか？．ナーシングケアQ&A(15)これだけは知っておきたいモニタリングQ&A．天羽敬祐・川村隆枝編．2007，pp168-169．総合医学社

**＜ 論 文 ＞**

**欧文(原著)**

1. Masaaki Ueki，Satoshi Taie，Kousuke Chujo，Takehiko Asaga，Yasuyuki Iwanaga，Nobuhiro Maekawa．Inhibitory Effect of D-Allose on Neutrophil Activation after Rat Renal Ischemia/Reperfusion．Journal of Bioscience and Bioengineering．2007：104；304-308．
2. Masaaki Ueki，Satoshi Taie，Kousuke Chujo，Takehiko Asaga，Yasuyuki Iwanaga，Junichiro Ono，Nobuhiro Maekawa．Urinary Trypsin Inhibitor Reduces Inflammatory Response in Kidney Induced by Lipopolysaccharide．Journal of Bioscience and Bioengineering．2007：104；315-320．
3. Okamoto Y，Wang J，Morishita J，Ueda N．Biosynthetic pathways of the endocannabinoid anandamide．Chem Biodivers．2007：4；1842-1857．
4. Jin X-H，Okamoto Y，Morishita J，Tsuboi K，Tonai T，Ueda N．Discovery and characterization of a Ca2+-independent phosphatidylethanolamine N-acyltransferase generating the anandamide precursor and its congeners．J Biol Chem．2007：282；3614-3623．
5. M. Jamal，K. Ameno，S. Ameno，J. Morishita，W. Wang，M. Kumihashi，U. Ikuo，T. Miki，and I. Ijiri．Changes in cholinergic function in the frontal cortex and hippocampus of rat exposed to ethanol and acetaldehyde．Neuroscience．2007：144；232-238．

**欧文(Proceeding)**

1. M Ueno，Y Iwanaga，M Ueki，H Sakamoto．Microarray analysis of BBB-damaged vessels extracted by microdissection．Proceeding of the 48th Annual Meeting of the Japanese Society of Neuropathology．2007：27；161．

**邦文(総説)**

1. 植木正明．虚血性腎障害に対する治療戦略．日本臨床麻酔学会雑誌．2007：27；608-612．
2. 臼杵尚志，浅賀健彦．手術部における医療情報システムを活用したSSI対策．日本手術医学会誌．2007：28；36-38．
3. 浅賀健彦，臼杵尚志．手術室運用の効率化．日本手術医学会誌．2007：28；144-145．
4. 岡部悠吾，前川信博．小児周術期輸液の見直し．麻酔．2007：56(5)；526-533．

**邦文(症例報告)**

1. 佐野 愛，田家 諭，上北郁男，植木正明，前川信博．上顎骨骨切り術（Le Fort Ⅰ型）でくも膜下出血を起こした１症例．麻酔．2007：56；74-76．
2. 田家 諭，別宮小由理，浅賀健彦，岩永康之，小野純一郎，澤登慶治，植木正明，前川信博．(1→3)-β-D-グルカン高値が遷延した食道手術後の深在性真菌症の2例．日本集中治療医学会雑誌．2007：14；603-608．

**＜学会発表＞**

**学会発表（特別講演，シンポジウム等）**

1. 植木正明．ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチドによる虚血性腎障害の治療戦略．信州ハンプフォーラム (信州) 2007年2月9日
2. 植木正明．ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチドによる虚血性腎障害の治療戦略．第59回麻酔科学セミナー (久留米) 2007年2月16日
3. 植木正明．『オピオイド鎮痛剤によるストレスコントロール麻酔～レミフェンタニルの使用を踏まえて～』．アルチバ新発売記念講演会 (高知) 2007年3月17日
4. 前川信博．学会企画座長：安全委員会企画（１）「薬剤依存症」．日本麻酔科学会第54回学術集会 (札幌) 2007年5月31日
5. 前川信博．薬剤アディクションの防止に向けて．日本麻酔科学会第54回学術集会 (札幌) 2007年5月31日
6. 前川信博．ランチョンセミナー座長：第17回日本ペインクリニック学会中国・四国合同地方会 (高松) 2007年5月12日
7. 穴吹大介．一般演題1診断　座長： 第17回日本ペインクリニック学会中国・四国合同地方会(高松) 2007年5月12日
8. 中條浩介．一般演題　呼吸・ショック　座長：第44回日本麻酔科学会中国・四国支部学術集会 (山口) 2007年9月22日

**学会発表（一般講演，国際学会）**

1. Natsuo Ueda，Xing-Hua Jin，Yasuo Okamoto，Jun Morishita，Kazuhito Tsuboi，and Takeharu Tonai．DISCOVERY OF A CALCIUM-INDEPENDENT PHOSPHATIDYLETHANOLAMIN N-ACYLTRANSFERAZE (iNAT) ．(oral) International Cannabinoid Research Society 17th Annual Symposium on the Cannabinoids．(Saint-Sauveur, Canada) 2007年6月

**学会発表（一般講演，国内学会）**

1. 澤登慶治，田家 諭，浅賀健彦，岩永康之，別宮小由理，前川信博．意識障害を伴った脳静脈洞血栓症の2例．第24回日本集中治療医学会中国四国地方会 (広島) 2007年1月27日
2. 田家諭，植木正明，小野純一郎，岩永康之，浅賀健彦，前川信博．脳HIF1-α遺伝子欠損マウスを用いた低酸素暴露に対するhypoxic preconditioningの効果の解析．第34回日本集中治療医学会学術集会 (神戸) 2007年3月1日
3. 植木正明，中條浩介，岩永康之，澤登慶治，前川信博．ウリナスタチンは好中球の活性化を抑制し、ラット敗血症性腎障害を抑制する．第34回日本集中治療医学会学術集会 (神戸) 2007年3月2日
4. 浅賀健彦，別宮小由理，田家 諭，岩永康之，前川信博．心血管手術周術期に発症した虚血性腸疾患の検討．第34回日本集中治療医学会学術集会 (神戸) 2007年3月2日
5. 別宮小由理，田家諭，浅賀健彦，岩永康之，横井信哉，前川信博．市販の消炎鎮痛薬による薬剤性劇症肝炎の1例．第34回日本集中治療医学会学術集会 (神戸) 2007年3月3日
6. 金星華，岡本安雄，森下 淳，坪井一人，藤内武春，上田夏生．内因性マリファナ様物質アナンダミドの生合成に係わる新規N-アシル転移酵素の同定と性状解析．第48回日本生化学会中国・四国支部例会 (高知) 2007年5月（一般研究発表、口演）
7. 別宮小由理，穴吹大介，野萱純子，前川信博．超音波ガイドを用いたトリガーポイントブロックの試み．第17回日本ペインクリニック学会中国・四国合同地方会 (高松) 2007年5月12日
8. 上野正樹，岩永康之，植木正明，阪本晴彦．マイクロダイゼクションによって採取された血液脳関門障害血管組織におけるマイクロアレイ解析．第48回日本神経病理学会総会 (東京) 2007年5月30日
9. 浅賀健彦，植木正明，澤登慶治，岡部悠吾，前川信博．ウリナスタチンは体外循環下心臓手術後の腎上皮再生因子の減少を抑制し、術後腎機能を保護する．日本麻酔科学会第54回学術集会 (札幌) 2007年5月31日
10. 岩永康之，植木正明，森美津子，古泉真理，佐野愛，前川信博．尿中EGF epidermal growth factor 排泄量から見た体外循環下心臓手術後の腎機能障害．日本麻酔科学会第54回学術集会 (札幌) 2007年5月31日
11. 植木正明，宮脇有紀，中條浩介，田家 諭，前川信博．D-アロースは高血糖時の腎虚血再灌流障害を軽減する．日本麻酔科学会第54回学術集会 (札幌) 2007年6月1日
12. 別宮小由理，植木正明，穴吹大介，谷本 敬，弓場智子，前川信博．尿中上皮再生因子(Epidermal growth factor ;EGF)排泄量からみた成人と小児における体外循環後の腎機能障害発生の差の解析．日本麻酔科学会第54回学術集会 (札幌) 2007年6月1日
13. 北村裕亮，小野純一郎，宮脇有紀，植木正明．重炭酸リンゲル(ビカーボン(R))とレミフェンタニルを用いて全静脈麻酔で管理したミトコンドリア脳筋症の1症例．第44回日本麻酔科学会中国・四国支部学術集会 (山口) 2007年9月22日
14. 簗瀬賢，植木正明，森美津子，宮脇有紀，田家諭，岩永康之．急性腎不全を呈したS状結腸穿孔患者の緊急手術後の腎機能改善に周術期のカルペリチド使用が有効であった1症例．第44回日本麻酔科学会中国・四国支部学術集会 (山口) 2007年9月22日
15. 岩部昌子，弓場智子，宮脇有紀，森美津子，植木正明．Marfan症候群合併妊娠の帝王切開に対し、レミフェンタニルを用いた１症例．第44回日本麻酔科学会中国・四国支部学術集会 (山口) 2007年9月22日
16. 臼杵尚志，浅賀健彦．手術室における患者情報の患者家族との共有化と個人情報保護．第29回日本手術医学会総会 (札幌) 2007年9月
17. 浅賀健彦， 臼杵尚志．大量出血症例における準備血液量と出血量の検討．第29回日本手術医学会総会 (札幌) 2007年9月
18. 古泉真理，植木正明，森美津子，澤登慶治，岡部悠吾，宮脇有紀．尿中EGF epideermal growth factor排泄量から見た低侵襲冠動脈バイパス術(OPCAB)後の腎機能障害．ベストプレゼンテーション賞．日本臨床麻酔学会第27回大会 (東京) 2007年10月25日
19. 宮脇有紀，浅賀健彦，佐野愛，弓場智子，植木正明．動脈圧心拍出量測定を用い、レミフェンタニルによる麻酔管理を行なった褐色細胞腫の１症例．ベストプレゼンテーション賞．日本臨床麻酔学会第27回大会 (東京) 2007年10月26日
20. 北村裕亮，植木正明，簗瀬賢，浅賀健彦，小野純一郎，穴吹大介．カルペリチドによる腎機能障害合併食道亜全摘術後の腎保護作用．ベストプレゼンテーション賞．日本臨床麻酔学会第27回大会 (東京) 2007年10月27日
21. Shuichi HIRAI，Shuhei TOMITA，Van Khang NGUYEN，Yousuke TAKAHAMA．マウス胸腺発生におけるHIF-1αの役割 The role of HIF-1α in fetal thymus development．第37回日本免疫学会総会・学術集会 (東京) 2007年11月22日
22. 小野純一郎，蔵谷紀文，北村裕亮，簗瀬 賢，植木正明．香川大学附属病院における小児MRI鎮静の現状．最優秀発表賞．第13回日本小児麻酔学会 (沖縄) 2007年11月23日
23. 森下 淳，穴吹大介，宮脇有紀，弓場智子，佐野 愛．胎児胸腔羊膜腔シャント術の麻酔管理におけるレミフェンタニルの使用経験．第13回日本小児麻酔学会 (沖縄) 2007年11月23日
24. 金星華，岡本安雄，森下 淳，坪井一人，宇山 徹，藤内武春，上田夏生．レシチン・レチノール・アシル転移酵素構造類似タンパク質のホスファチジルエタノールアミンN-アシル転移酵素としての同定．第30回日本分子生物学会年会 第80回日本生化学会大会 合同大会 (横浜) 2007年12月
25. 宮脇有紀．当院における周術期ランジオロール使用症例の検討．Shortacting βblocker学術講演会．2007年

**その他の講演**

1. 岡部悠吾，浅賀健彦，植木正明，前川信博．硫酸マグネシウムによる遷延性筋緊張低下、及び意識障害をきたした１症例．第4回四国麻酔と輸液研究会 (高知) 2007年
2. 上田夏生，金星華，岡本安雄，森下 淳，坪井一人．レシチン・レチノール・アシルトランスフェラーゼにホモロジーを示す機能未知のタンパク質はホスファチジルエタノールアミンN-アシルトランスフェラーゼとして作用する．第315回脂溶性ビタミン総合研究委員会 (東京) 2007年3月

**＜研究助成金＞**

1. 植木正明．文部省科学研究費補助金（基盤研究Ｃ）：吸入麻酔薬による新生児期の全身麻酔の安全性の再評価